

進路情報 令和4年7月26日発行

「やるしかないんですよね。」

学年集会にて、3年8組岸本健路さんのことば
 どれだけ現実逃避しても避けられないのが受験・・・
 だから、ちゃんと前向いて取り組もうよという意味

本校では、毎年ほとんどの卒業生が高等学校へ進学しています。進学先は県内にとどまらず県外も多いです。昨年度は、281名全員が高校へ進学した中で13名が県外の高校へ進みました。(第1回三者面談資料に掲載してあります。また、作成時に就職となっていた1名もその後通信制高校への進学が決定しました。)近年は、通信制高校への進学も増えつつあります。進学先によっては入試形態や手続き方法も大きく異なり、希望する受験先については、自分自身でよく調べておく必要があります。

先日、令和5年度の沖縄県立高校の入学定員が発表になりました。来る8月には入試の手続きに関する説明会(中学校職員が参加)が開催される予定です。その後、各高校それぞれの入試情報が発表される予定となっています。今後、この「進路情報」において随時情報発信していく予定です。どうしても高校入試に関する情報が多くなるとは思いますが、義務教育の最終段階にさしかかるこの時期に、できるだけ5年、10年と将来をみすえた進路について、日頃からご家庭でも対話を重ねてほしいと思います。生徒一人ひとりが将来に対する目的意識を持って、主体的な進路選択ができるように、有意義な情報をお伝えできれば幸いです。

《沖縄県の高校》

沖縄県には、公立60校、私立では沖縄尚学高校、興南高校、昭和薬科高校、沖縄カトリック高校、これに加えて通信制の高校があります。私立通信制高校には、つくば開成国際高校、飛鳥未来きずな高校、ヒューマンキャンパス高校、未来高校(KBC学園グループ)、N高校などがあります。公立でも泊高校や宜野湾高校に通信制課程があります。私立を含めると、多少大げさかもしれませんが星の数ほどの学校が存在しています。そのほとんどがホームページなどで紹介されていますので、どんな学校でどんな勉強ができるのか(資格がとれるのか)、どんな道につながるのか、よく情報を集めて自分に合った学校を見つけてください。

《沖縄県立高校の入試制度 令和4年度版》※5年度の入試については8~9月頃にかけて詳細が出されます。

【選抜概要】沖縄県立高校入試は、推薦入学・一般入学があります。

- 出願は、原則1校1学科(コース)に限ります。ただし、一般入学においては、同一校における他の学科に第2志望(コースの場合は第2希望)を出願することができます。
- 普通科の通学区域は、原則として国頭、中頭、那覇、島尻、久米島、宮古、八重山の7つに分かれています。学区外からの出願も可能です。学区外からの募集人員は上限が入学定員の10%以内と定められており、具体的な人数については各学校により決定されます。
- 推薦入試・・・当該学校・学科に対する目的意識が明確で、かつ、興味・関心及び、適性を有する者を対象とした選抜です。推薦は全ての学科において行われます。出願要件として、自己表現(諸活動の実績の証明)や個性表現(特定分野の表現)が必要です。

- ①自己表現の諸活動例:文化活動、スポーツ活動、ボランティア活動 等(賞状の写し等の証明が必要)
- ②個性表現の分野例:音楽・美術・書道等の芸術分野、文芸・研究等の分野 等(実際に実技披露する)

●一般入試

・学力検査・・・国語・数学・理科・社会・英語(各50分・各60点)

※推薦・一般ともに面接も行っています。また、独自の問題(付加問題)や実技検査(体育科等)を行う学校・学科があります。

- 2次募集・・・一般入試で不合格だった場合、定員に空きがあり2次募集を行っている高校を受験することができます。2次募集での筆記試験はなく、一般入試時の点数を使用し、面接試験が行われ、合否が決まります。

《令和5年度沖縄県立高校の定員》※若干の増減や統廃合、新設学科あり。

先日の新聞にて各高校の定員が発表されました。定員割れ解消のために昨年度より全体で2クラス(80名)減った募集定員となっています。具体的には、那覇商業高校の会計科2クラスが商業科に統合されることにとともに、商業科は4クラスから5クラスに増えますが、全体としては1クラス減ります。また、那覇工業高校は機械科が1クラス減ります。浦添工業高校はインテリアデザイン科が1クラス減りますが、新しく建築科1クラスが設けられますので全体のクラス数としては変わりません。

《進路にかんする予定》

7月26日～	第2回三者面談	・進路相談
9月20日	進路・修学旅行説明会	保護者も同席し、修学旅行にかんすることや、県から出された <u>県立高校入試要項に沿って手続きにかんする説明を行う</u> 。校内推薦基準や手続きのながれについても説明する。※昨年度はコロナ感染の影響により、入試手続きについての説明はネット配信で行った。
校内推薦手続きのながれ		
呼びかけ → 希望者対象説明会 → 推薦受験希望者申し出(担任へ) → 提出書類メ切(校内申請用紙+α)		
→ 提出された書類をもとに判定会議資料作成(担任) → 判定会議(学校職員全体) → 校長認定		
→ 生徒への結果伝達 → 校内推薦通過者は本書類の作成に入る → 1月、各高校へ願書提出		
※沖縄尚学高校等、入試日程のはやい私立校受験生徒については、その提出日に合わせる		
12月15日～	第3回三者面談	・進路決定、相談 ・推薦入試書類提出
1月16・17日	県立高校推薦願書提出	提出後、各高校の定める日程で試験を行う。
1月31日	推薦結果通知期限	この日までに受験校全ての結果が届く。※入学確約書提出期限2月3日
1月31日	第4回三者面談(3年生のみ)	・進路決定(最終) ・一般入試書類提出
2月1日～	一般入試書類点検・分類	
2月8・9日	県立高校一般願書提出	※9日夜初回志願倍率発表 倍率を見て、志願変更したい生徒は担任に申し出てもらう。(必要があれば保護者交えて)しっかり意思確認し、書類(志願変更願)の作成に入る。 ※志願変更(取り下げ・追加)には条件あり。
2月15・16日	志願変更申し出	「申し出」とは「高校への書類提出」の意
2月21・22日	願書取り下げ・再出願	取り下げが認められれば、最初に志願した高校に願書を取り下げに行き、変更先の高校へ書類の提出に行く。 ※22日夜最終志願倍率発表
3月8・9日	県立高校入試	
3月11日	卒業式	
3月13・14日	県立高校追検査	コロナにかかわることで、一般入試を受けられなかった生徒が受検できる
3月16日	県立高校合格発表(一般)	不合格者はその日のうちで面談し二次募集等について相談する。保護者同伴が望ましいので、保護者にもながれを前もって伝えておく。
3月17・20日	県立高校2次願書提出	※20日夜初回志願倍率発表 志願変更の意思確認を必ず行う。変更の際は「志願変更願」を作成する。一次試験時と違い、志願変更は自由に行える。定員割れているところからの変更もOK。校区も関係なし。
3月22日	志願変更・再出願	※最終志願倍率発表 二次募集は面接のみの学校がほとんど。なお、一次試験を受けていない生徒が受検できる県立高校は、定時制のみ。
3月29日	2次募集合格発表	不合格の生徒は面談

《特色選抜について》

第1回三者面談においていくつか質問がありました。特色選抜とは、県立高校の推薦入試に変わる選抜制度です。中学校校長の推薦が不要になります。(=全生徒が特色選抜での出願が可能)また、現行の推薦入試と同様の面接と実技検査に加えて学力検査が課されるようになります。基礎学力の定着を図ることが目的です。当初は2023年に導入予定でしたが実施時期をずらし2025年度から導入すると3月のニュースで公になりました。しかし、まだ県教委から正式な知らせが届いておりません。詳細をみてから、特色選抜のメリット・デメリットを見極めたいところです。

《豊見城中学校近隣校における昨年度の倍率の状況》※定員オーバーしていた学校(学科)を中心に記載

那覇国際【普通科:(推薦)2.71倍、(一般)1.18倍】【国際科:推薦)3.00倍、(一般)1.46倍】

那覇【普通科(推薦)2.36倍、(一般)1.17倍】 小禄【普通科普通コース(推薦)1.96倍、(一般)1.16倍】

那覇西【普通科(推薦)2.00倍、(一般)1.12倍 体育科(推薦)1.95倍、(一般)1.88倍】

開邦【学術探究科(推薦)2.86倍、(一般)1.36倍】 向陽【普通科:(推薦)3.70倍、理数科(推薦)2.54倍】

※那覇国際高校の普通科は、豊見城中学校からは校区外受験となります。昨年度の倍率は、推薦2.71倍、(一般)1.18倍でした。

しかし、校区外受験にかぎって見てみますと、推薦入試定員が80名ということで、その10%である8名までが入学可能であるのに対し、昨年度は校区外から48名が出願していました。つまり、校区外受験者の倍率は6.00倍ということになります。同様に、一般入試240定員24名までの入学可能定員に対し36名

《第一回進路希望調査》

5月GW明けに、第1回進路希望調査を3年生対象におこないました。(今後2~3回予定)志望状況は次のようになっています。学科が未記入の生徒もいましたが、那覇高校(51名)、小禄高校(30名)、豊見城高校(27名)、那覇西高校(26名)と、4校の人气が今年も高いです。

向陽(普通)2名 首里(染織デザイン)1名 浦添工業(インテリアデザイン)1名 糸満(普通)2名

小禄(普通科普通コース)25名 (普通科芸術教養)4名 (普通科情報ビジネスコース)1名

開邦(学術探究)1名 (芸術)1名 那覇(普通)50名 南風原(普通科普通総合コース)1名

豊見城(普通科普通コース)27名 豊見城南(普通科普通コース)9名 (普通科特進コース)2名

沖縄工業(建築)1名 (情報電子)5名 (生活情報)1名 沖縄水産(総合学)4名 (海洋)1名

那覇工業(自動車)1名 (服飾デザイン)1名 (機械)1名 (電気)1名

南部工業(機械)1名 (建築設備)1名 南部農林(食品加工)5名 (生物資源)2名 (学科未定)1名

那覇国際(普通)7名 (国際)1名 西原(普通科健康科学コース)1名 (学科未記入)1名

那覇西(普通)21名 (国際人文)3名 (体育)2名 真和志(みらい福祉)1名 北山(普通)1名

那覇商業(会計)3名 (商業)9名 (国際経済)2名 (学科未定)4名 南部商業(流通クリエイト)1名

N高校1名 つくば開成国際高校1名 沖縄尚学3名 沖縄高専(メディア情報工学)1名

岡山県立1名 高知中央(スポーツ)1名 中京大中京1名 鳳凰(看護)1名 浜松開誠館1名

※調査当日欠席していた生徒は後日おこなう予定です。

校区
特色選抜
私立や県外募集要項
通信制高校
比重